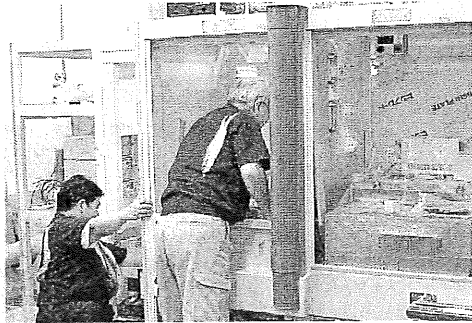


# 躍進企業 in かながわ

## カナメックス(半導体洗浄装置)



オーダーメイド品を一つずつ手作業で組み立てる(神奈川県厚木市の工場)



石室要社長

### 《会社概要》

- ▽本社 神奈川県厚木市飯山 3081-3
- ▽設立 1985年6月
- ▽事業内容 半導体洗浄装置の開発・製造
- ▽売上高 6億円 (2008年5月期)
- ▽経常利益 3000万円(同上)
- ▽従業員数 27人

いに納得いくまで議論を重ねる」。保守点検は年一回、年末年始も含め二十四時間体制で受け付ける。中小の特長である小回りの良さを武器に、取引先にはソニーやキヤノン、富士ゼロックスなど大手企業を名を連ねる。

汎用品市場は手を付けず、あえて研究開発用に特化する。景気の浮き沈みに左右されにくいほかに、大手が進出しにくいニッチ(すき間)市場を開拓できる利点もある。半導体関連装置の世界最大の展示会「セミコン・ジャパン」にも出展し、新規顧客の獲得に努める。

創業者の石室要社長は「出したい」と意気込む。

浄装置だ。半導体の製造工程では部材の清潔さを保つため、基板に回路を焼き付けたり、基板上の不要部分を溶かして除去するたびに洗浄しなければならぬ。薄型テレビや携帯電話などの高機能

「こつすればより良くなる」と積極提案する(石室)

## 「工芸品」大手と直接取引 研究用特化 手堅い経営

めてきた。東アジアを中心に海外展開も視野に入れている。

小田急線愛甲石田駅から徒歩十分程度。東名高速道路のほど近くに本社兼工場はある。ビニール

に囲まれた一角には開発中の装置が所狭しと置かれ、横では技術者が点検作業に追われている。一

化に伴い、半導体メーカーも部材の薄型化や軽量化を競っており、洗浄装置に求める機能も年々高まっている。

社が主に手掛けるのはウエハーや液晶、有機ELなど各種半導体の洗

室専務) 営業に強みを持つ。研究開発用装置はほとんどがオーダーメイド品で、企業にとっては次世代技術の実用化の第一歩となる。それだけに「直接顔をつきあわせて、互

が、「サービス業をやりたい」と三十四歳で退社起業した。飲食業やカラオケ店などに進出したのが、「これからは半導体の時代」とみて一九八五年、半導体の基幹部材を保護するパッケージ業務を開始。九〇年代初頭に現在の業務を引き継ぐ半導体事業部を設立した。

半導体産業は「常に新しい技術を求められる」。資金力やマンパワーでは大手にかなわないが、部材の組み合わせなど独自の設計技術で十分対抗できる。まずは国内市場の一段の開拓を狙う。「きちんとした顧客が見つかれば海外にも進出したい」(石室専務)

# 神奈川

横浜 0445-2201-2255  
11  
加瀬 0445-2221-7793